

MAENAN SAH Journal Vol.134



『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ 2025/12/08

生徒による発表前南創立 50 周年記念レセプション

前橋南高校 50 周年。50 周年記念レセプションでは、これまでの 50 年を振り返る企画や「これから」の前南を作る生徒達のパフォーマンス、発表を披露しました。レセプション終了後に同窓会の方から「見えなかった今の前南の取組、後輩達の元気な様子が見られて良かったしうれしかった」という感想をいただきました。それでは 50 周年記念レセプションを振り返ってみましょう！（編集 教頭）



第Ⅱ部 生徒によるレセプション

- オープニング～前南○×クイズ～
- SAHの取組について生徒発表
- 吹奏楽部による演奏
- 応援歌「闘魂」披露
- 書道部によるパフォーマンス



①会場全員参加！50年振り返る“クイズ”

会場に赤と青の用紙を用意して、参加者がクイズに対してどちらかの用紙を掲げる形式を取りました。盛り上がりましたね！

私はオープニングの「前南○×クイズ」の作成をしました。今の前南生が知らないような「前南の歴史」を楽しく知れようするために、前南 10 年史、30 年史を使って情報を集めたり先生からアドバイスをいただいたりして、前南の面白い歴史や驚く情報を集め、クイズにしました。驚く情報ばかりだったので、作っていて楽しかったです！スライド作成では、体育館の後ろの方まで見えるようにシンプルなレイアウトや、大きな文字を意識して作りました。時間をかけて作ったので、皆さんが楽しそうにクイズに参加する様子が見られて嬉しかったです！（2年 峯岸優衣）



②3年間の SAH 活動“プレゼン”

本校は県の SAH 指定校になって3年目。SAH 活動の中心を担った生徒会が3年間の取組を発表しました。

3 人で協力しながら準備を進め、さらに生徒会メンバーの皆さんのサポートもあったおかげで、当日まで滞りなく進めることができました。スライド原稿の作成では作業量が多く大変でしたが、3 人で分担することで負担を軽減できました。練習にも十分な時間を確保し、本番では大きなミスなく発表できたと思います。一方で、「どうすれば聞いてくれる生徒に楽しんでもらえるか」という点が課題でした。そのため、問いかけを入れたり、学校説明会でのエピソードを紹介したりと工夫を重ねました。プレゼンを通して、これまでの SAH 活動を振り返り、多くの経験を積んできることを実感しました。そして、どの活動も周囲の仲間や先生方の支えがあってこそ成り立っていたのだと改めて感じました。今後も感謝の気持ちを忘れずに、さまざまなことに挑戦していくみたいです。（2年 平沢拓夢）



アイス自販機設置

原稿を読み合わせる時には、一緒に発表する人と話し合って呼びかけを考え、強調したい部分を強調するためにどうやったら強調できるのか考えて工夫することができました。また、原稿を考える時にも今までの活動で伝えたいことがたくさんありましたが時間の限りがあるため、特に伝えたいことを原稿に入れました。この 50 周年記念式典での SAH の取組についての発表を聞いている生徒のみなさんが興味を持ってほしい気持ちで積極的に原稿を考えたので、みなさん SAH の良さを伝えることができたと思います！（1年 高橋理緒）



野球応援

③50年振り返る“吹奏楽部” 年代別の曲を披露。

同窓会、PTAの方々から現役高校生まで楽しめる選曲はさすが、“前南のエンターテイナー”軍団。QUEEN メドレーで会場は最高潮に！

今回の式典では、文化祭以来、久しぶりに全校生徒の前で演奏をさせていただきました。前南の創立50周年ということで、50年前～今を振り返れるような曲の構成にしました。クイーンメドレーでは、西村先生の最高のパフォーマンスで会場をさらに盛り上げることができて良かったです。生徒や先生方からも大好評でした。聞いていただいた生徒のみなさんも楽しんでくれていて、とてもやりがいがありました。今回は貴重な演奏の機会をいただいてありがとうございました。（2年 近藤和歩）



④復活！“応援歌”披露 ※「応援歌復活」については後日特集！

1年音楽選択の生徒による前南“応援歌”的披露。吹奏楽部の演奏、書道部のメッセージとのコラボで復活。前南 RENAISSANCE。



今回、開校記念式典で応援歌を歌うまでの流れの中で、様々な思いを抱きました。応援歌についての授業では、まず歌詞の意味の確認を行いました。歌詞に秘められた前南に対する思いを紐解いていき、私自身も前南一生徒としての自覚や誇りを高めることができました。授業での練習や学びの結果、本番では前南の良さを前面に押し出すために、生き生きと歌うことを意識して臨むことができました。

今まで歌われずにいた応援歌を今回の記念式典でよみがえらせることで、前南の力をより高めることができたと感じています。今後も、この応援歌を引き継いでよりよい学校に向かっていってほしいです。（1年 羽鳥聖）

⑤書道部より“全ての前南生へ贈るメッセージ”

レセプションのトリを飾った書道部のパフォーマンス。夢を見る前南に関わる全ての人たちに贈る“夢想”的書

私たち書道部は、前南の応援歌「闘魂」を吹奏楽部と音楽選択の生徒とコラボして、応援歌「闘魂」に込められた力強さと前南の誇りを、書を通して表現しました。50周年という節目だからこそ、これまでの伝統を大切にしながら、新しい形で応援の心を届けたいという思いを込め、さらに50周年という特別な年に、これまで支えてくださった方々への感謝と、これから前の前南への期待を筆に託しました。このパフォーマンスを通して、前南の歴史と未来をつなぐ架け橋になれたなら嬉しいです。

また、書道部独自のパフォーマンスでは、「夢想」をテーマに作品を披露しました。みんなで何度も練習を重ねたからこそ、本番では緊張の中でもお互いを信じて書くことができ、筆を動かすたびに、自分の思いや未来への希望が形になっていくよう、とても印象深い時間となりました。「夢想」というテーマのように、これからも自分の夢を思い描きながら成長していくと思います。そして、この作品を見てくださった方にも、自分の夢や希望を思い描くきっかけになってほしいと願っています。（2年 河野わかかな）



生徒代表の言葉(「I部 50周年記念式典」より)

前橋南高等学校が創立50周年という節目の年を迎えるにあたり、このような記念すべき場に、生徒の一人として、立たせていただけることを大変嬉しく思います。

本校はこれまで、先輩方が築いてこられた古き良き伝統を大切にしながら、時代の変化に応じて新しいことに積極的に挑戦し、より良い学校へと歩みを進めてきました。

半世紀にわたる、その歩みの中で多くの卒業生が社会へはばたき、それぞれの場で地域や社会のために力を尽くしてきました。そうした先輩方の歩みは、私達在校生の誇りであり、これから前の前橋南高等学校を形作るうえで、大きな指針となっています。

そして、これからの前橋南高等学校は、私たち在校生一人ひとりの手によって創り上げていくものです。私たちはこれからも、伝統を受け継ぎつつ、SAH活動をはじめとする多様な取り組みを通して学びを深め、自ら判断し行動する力をはぐくみ、前橋南高等学校の新たな歴史を築いていきます。



11月4日 生徒代表 新井 稀唯

★校長より★50周年記念レセプションにアイデアを出し、企画、運営をしてくれた皆さんに心から感謝します。「今の前南」を伝えることができ、同窓生の方達からも感謝の言葉をいただきました。本当にありがとうございました。少し変な話をします。今日、皆さんのが座っている座席と同じ位置に48年前にも前南生が座っていました。制服を着て、授業を受け、友人とおしゃべりをしていました。この高校生と皆さんの心情的な距離は近いものだろうし、物理的な距離もさほど遠くはないと思いました(世界をx,y,z,tの4次元空間と考えています)。皆さんとこの前南生がおしゃべりを始めそうな不思議な感覚を感じました。(原 拡史)